

令和6年度

議 会 の 概 要

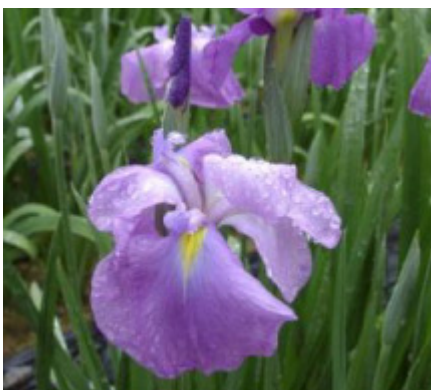


あわらし市議会

(令和6年4月1日)

雄大な海と優しい湖 美しき山に清らかな川
豊かな実りをもたらす大地 そしていやしの温泉^ゆ
先人が築き上げてきた歴史と文化が息づくまち あわら市
私たちは このまちの市民であることに誇りと責任を持ち
活力に満ちた魅力的なまちをつくるためにこの憲章を定めます

- 一 守ります 美しい自然を
- 一 創ります 豊かな文化を
- 一 育てます 学びの心を
- 一 鍛えます 健やかな身体を
- 一 伝えます 働く喜びを
- 一 広げます 助け合いの輪を
- 一 愛します わたしたちのふるさとを



市の花：花菖蒲



市の木：梅



市の鳥：白鷺

(平成21年3月1日制定)

1. 位置と地勢

あわら市は、福井県の最北端に位置し、北は石川県加賀市、南は坂井市に接し、市の北部には北潟湖、坂井北部丘陵地、中央部にはＪＲ芦原温泉駅と芦原温泉街を核とした２つの市街地を形成し、南部は田園地帯、東部は刈安山、風谷峠、劔ヶ岳を結ぶ標高５００～６００ｍの森林地帯がそれぞれ位置しており、田園地帯と市街地を貫くように県下５大河川の一つ竹田川が流れている。

交通は、ＪＲ北陸本線、えちぜん鉄道、北陸自動車道、国道８号線、国道３０５号線の主要交通路が南北に貫き、ＪＲ芦原温泉駅、金津インターチェンジは福井県の北の玄関口として重要な位置を占めている。

気候は、北陸地方の中でも比較的温暖で過ごしやすい。

2. 面積

あわら市は、東西約１４km、南北約１４kmにわたり、面積は１１６．９９k²である。



3. 経緯（あわら市、旧芦原町、旧金津町）

旧芦原町は人口約14,000人で、明治16年の芦原温泉の開湯によって温泉街が形成され、明治44年の国鉄三国線（昭和47年廃止）や昭和3年の京福電鉄三国芦原線（平成15年4月から「えちぜん鉄道」）の開通によって、豪華さと優美を誇る近代的な温泉観光地として発展してきた。

旧金津町は人口約18,000人で、古くから福井県嶺北地方の交通の要衝として栄え、明治30年の北陸本線の開通や昭和59年の北陸自動車道金津インターチェンジ開設など交通網の整備に伴い、県内でも有数の工業製品出荷額を誇る町として発展してきた。

両町は、明治時代に幾つかの統廃合や名称の変更等を繰り返し、その後、町村合併促進法の施行（昭和28年）に伴い、昭和29年10月に1町4村の統合及び翌年2月の劔岳村編入により金津町が、昭和30年3月の1町2村の統合により芦原町がそれぞれ形成された。

特に、旧芦原町と旧金津町は、温泉街を有する町と観光の玄関口を有する町という密接な関係を持っており、古くより両町民の生活行動圏域も町域を越えた広がりを持っていた。

このような背景から、両町では平成14年10月に芦原町・金津町合併協議会を発足させ、平成15年2月には合併協定書調印、同年8月に両町の廃置分合申請書を福井県知事に申請し、11月に市町の廃置分合について総務省告示を経て平成16年3月1日に平成の大合併としては、県内第1号となる「あわら市」が誕生した。



北潟湖畔に架かるアイリスブリッジ



蓮如上人の像（吉崎）

I 市の概要

1 市制施行 平成16年3月1日

2 人口・世帯数

(単位:人・世帯)

	人 口	世 帯 数
平成 2年(国調)	31,743	8,708
平成 7年(国調)	32,432	9,327
平成12年(国調)	32,178	9,562
平成17年(国調)	31,081	9,658
平成22年(国調)	29,989	9,735
平成27年(国調)	28,729	9,697
令和 2年(国調)	27,524	9,933

※平成2年～平成12年の数値—旧芦原町、旧金津町の国勢調査の合計

3 面 積 116.99km²

4 産業別就業者数

(単位:人・%)

	総 数	第1次	第2次	第3次	分類不能
平成22年 国勢調査	15,513	940	4,873	9,648	52
	100	6	31	63	—
平成27年 国勢調査	15,132	923	4,711	9,345	153
	100	6	31	61	—
令和2年 国勢調査	14,287	847	4,651	8,620	169
	100	6	33	60	—

5 財 政

(1)令和6年度各会計当初予算

一 般 会 計	15,460,000千円
特 別 会 計	3,776,200千円
国民健康保険	2,894,500千円
後期高齢者医療	472,700千円
農業者労働災害共済	5,000千円
公共用地先行取得事業	404,000千円
企 業 会 計	3,060,602千円
水道事業	1,037,962千円
公共下水道事業	2,022,640千円
芦原温泉上水道財産区水道事業会計	220,043千円
合 計	22,516,845千円

(2) 令和6年度一般会計当初予算 性質別一覧表

(単位:千円・%)

歳 入				歳 出			
区 分		予 算 額	構 成 比	区 分		予 算 額	構 成 比
自 主 財 源	市 税	4,204,426	27.2	義 務 的 経 費	人 件 費	2,800,040	18.1
	分担金及び負担金	150,961	1.0		扶 助 費	3,017,700	19.5
	使用料及び手数料	171,505	1.1		公 債 費	1,640,402	10.6
	財 産 収 入	27,335	0.2		小 計	7,458,142	48.2
	寄 附 金	3	0.0	そ の 他 の 経 費	物 件 費	2,209,393	14.3
	繰 入 金	2,036,858	13.2		維 持 補 修 費	80,783	0.5
	繰 越 金	1	0.0		補 助 費 等	3,396,454	22.0
	諸 収 入	725,426	4.7		積 立 金	19,032	0.1
	小 計	7,316,515	47.4		投 資 及 び 出 資 金	13,000	0.1
	地 方 譲 与 税	133,000	0.9		貸 付 金	121,500	0.8
利子割交付金	800	0.0	繰 出 金		1,085,461	7.0	
配当割交付金	20,000	0.1	建 設 事 業		補 助 事 業 費	277,851	1.8
株式等譲渡所得割交付金	20,000	0.1			単 独 事 業 費	620,023	4.0
法人事業税交付金	80,000	0.5			県 営 事 業 負 担 金	167,061	1.1
地方消費税交付金	670,000	4.3	計	1,064,935	6.9		
ゴルフ場利用税交付金	50,000	0.3	災 害 復 旧 事 業 費	1,300	0.0		
環境性能割交付金	13,000	0.1	予 備 費	10,000	0.1		
地方特例交付金	142,000	0.9	小 計	8,001,858	51.8		
地方交付税	3,380,000	21.9					
交通安全対策特別交付金	2,200	0.0					
国庫支出金	1,709,150	11.1					
県 支 出 金	1,456,235	9.4					
市 債	467,100	3.0					
小 計	8,143,485	52.6					
合 計	15,460,000	100.0	合 計	15,460,000	100.0		

(3) 令和6年度一般会計当初予算 目的別一覧表

(単位:千円・%)

歳 出		
科 目	予 算 額	構 成 比
議 会 費	149,056	1.0
総 務 費	2,312,404	14.9
民 生 費	5,087,330	32.9
衛 生 費	907,606	5.9
労 働 費	32,235	0.2
農 林 水 産 業 費	872,872	5.6
商 工 費	676,074	4.4
土 木 費	1,496,837	9.7
消 防 費	598,585	3.9
教 育 費	1,656,266	10.7
災 害 復 旧 費	1,300	0.0
公 債 費	1,640,402	10.6
諸 支 出 金	19,033	0.1
予 備 費	10,000	0.1
合 計	15,460,000	100.0

Ⅱ 議 会

1 議 員 数

条例定数 16人（令和3年6月13日改正）

(1) 平成16年3月1日～平成17年6月30日まで在任特例適用

定数 34人

(2) 平成17年7月1日～平成21年6月30日まで

定数 22人

(3) 平成21年7月1日～令和3年6月30日まで

定数 18人

2 党派・会派別構成

(1) 党派 無所属14人 公明党1人 日本共産党1人

(2) 会派 なし

3 正副議長の申し合わせ任期

申し合わせなし（通常は2年）

4 委 員 会

(1) 常任委員会 任期 2年

名 称	定 数	現 員	所 管 事 項
総務厚生	8人	8人	総務部、創造戦略部、市民生活部、健康福祉部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所属に属しない事項
産業建設教育	8人	8人	経済産業部、土木部、教育委員会、上水道財産区水道部及び農業委員会の所管に関する事項
予算決算	15人	15人	一般会計、特別会計及び企業会計の予算又は決算に関する事項

※選出方法 指名推選（希望制）

(2) 特別委員会 任期 議会が調査終了を議決するまで

名 称	定 数	現 員	所 管 事 項
広報編集 (R3.7.1設置)	7人	7人	・議会だよりの編集、発行

議会活性化 (R3.7.1設置)	7人	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告会に関する事 ・政務活動費に関する事 ・タブレットの導入に関する事 ・その他議会の活性化全般に関する事
環境対策調査 (R3.10.13設置)	7人	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・土採取、埋戻し等の規制に関する事 ・産業廃棄物処理に関する事 ・ごみ等の不法投棄防止に関する事 ・北潟湖の環境保全（自然再生協議会含む）に関する事 ・空家対策に関する事 ・鳥獣害対策に関する事 ・その他環境保全全般に関する事
総合交通 まちづくり調査 (R3.10.13設置)	8人	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線まちづくり（駅周辺及び地域におけるまちづくり）に関する事 ・並行在来線に関する事 ・その他交通・まちづくり全般に関する事

(3) 議会運営委員会 任期 2年 定数 6人

- ・所管事項 議会の運営に関する事項
議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
議長の諮問に関する事項
- ・選出方法 指名推選（副議長、2常任委員長、議長が指名する3人）

5 議会運営

(1) 会議時間 午前9時30分～午後5時

(2) 議事日程 会議当日に配付

(3) 議案等の配布 原則、定例会初日の一週間前に全員協議会を開催し議案配付

(4) 本会議の審議順序

- ・招集日 提案理由説明 → 総括質疑 → 委員会付託
- ・第2日 一般質問
- ・第3日 一般質問
- ・休会日 各常任委員会
- ・最終日 委員長報告 → 質疑 → 討論 → 採決

(5) 議案等の審議

- ・会議規則 委員会主義
所管の委員会にて審査し、本会議で委員長報告

(6) 質 問 (一般質問)

- ・ 通告期限 定例会前日
- ・ 質 問 数 3 問以内
- ・ 質問方式 一問一答方式、分割質問分割答弁方式併用
- ・ 質問時間 25 分 (答弁含まず)
- ・ 質問順序 通告順
- ・ 発 言 一般質問席 (対面式)
- ・ 代表質問 なし

(7) 質 疑

- ・ 通告要否 要 (口頭も可)
- ・ 発言時間 制限なし
- ・ 発言回数 同一議題 3 回まで
- ・ 発 言 自席

(8) 討 論

- ・ 通告要否 否
- ・ 発言時間 制限なし
- ・ 発言回数 1 回
- ・ 発 言 登壇

(9) 請願・陳情等の取り扱い

- ・ 請 願
 - 受 理 定例会初日の 1 週間前に開催する議会運営委員会の前々日の午後 5 時 15 分までに受理したものを会期中に審議する。以後に受理したものでも、議会運営委員会で緊急と認めたものは、その会期中に審議する。
 - 紹介議員 正副議長、所管の委員長は紹介議員にならない。
 - ※請願等文書一覧表及び原本の写しを議会運営委員会に配付し、付託すべき委員会で協議する。
 - 全員協議会で請願等文書一覧表及び原本の写しを全議員に配付する。
- ・ 陳 情 請願の取り扱いに準じる。
- ・ 要望、要請等
 - 所管の常任委員会に送付し、審査結果の報告は求めない。
 - なお、全員協議会にも配付する。

(10) 全員協議会のあり方

- ・ 諸般の報告
- ・ 一部事務組合議会の報告
- ・ 議案概略説明
- ・ 議会内部の協議
- ・ 行政に対し、問題点等を問う。
- ・ 行政から、議会に対し意見を聞く。

(11) 会議録

- ・ 本会議 記録方法 全文記録 (H22 より業者委託)
印刷部数 2部
配付先 議会、理事者
- ・ 委員会 記録方法 要点記録、印刷、配布なし
※インターネットで動画配信を行っている。

(12) 議会だより

- ・ 発行 毎定例会後4回
 - ・ 発行日 定例会翌々月の15日
 - ・ 発行部数 10,000部 (A4版16P・表裏紙カラー、他2色刷)
- ※市ホームページに掲載
※令和6年度当初予算 1,452千円

(13) 議員、三役等の報酬

(単位：円)

	月 額	備 考
議 長	440,000	H18.4.1~
副議長	370,000	H18.4.1~
議 員	350,000	H18.4.1~
市 長	890,000	H23.4.22~
副市長	700,000	H23.4.22~
教育長	600,000	H23.4.22~

(14) 議員期末手当 (※R6.4.1改正)

報酬月額に100分の115を乗じて得た額に次の率を乗じる。

- ・ 6月 170/100 12月 170/100

(15) 政務活動費 なし

(16) 議員の旅費、実費弁償

- ・ 議 長 宿泊料 16,500円
- ・ 副議長 " 14,800円
- ・ 議 員 " 14,800円

※車賃は実費とする

※会議等の出席にかかる実費弁償はなし

(17) 視察研修費 (令和6年度予算)

- 2 常任委員会 50,000円以内/1人 (1泊2日)
- 議会運営委員会 50,000円以内/1人 (1泊2日)
- 特別委員会 50,000円以内/1人 (1泊2日)

(18) 議長交際費 令和6年度当初予算額 40万円

(19) 事務局職員 定数 5人 現員 4人